



羅針盤

No.57

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

師走です。道すがらの山茶花が綺麗に咲く時期になりました。童謡の「たき火」にも謳われている冬の風景が心和みます。山茶花の和名「さざんか」は、中国名の「さんざか」が訛ったのだそうです。

今年の列島は、火山噴火が続きました。研究者は、東日本震災の影響による日本列島の地殻変化が原因と話していますが、昨年11月に確認された小笠原西之島の噴火は収まる気配を見せず、旧西之島はほぼ溶岩流に覆われたとのこと、5月、8月には桜島が怒り、7月の御嶽山噴火では痛ましい結果になりました。そして阿蘇山も。五指に余る山々が動きを始めていると聞くと、どうしても、富士山は？と気になります。抗うことのできない自然の猛威とどう和していいのか。難しい課題です。来年はお山が鎮まることを祈りましょう。

今年もまもなく年を跨ぐこととなりますが、年始に立てた目標は実現できそうですか。仕事、プライベートと色々な計画があり、また年代によっても目標は違いますが、一般的に言えば半分できれば成功と言えるのではないのでしょうか？ 継続は力なり。ネバー ギブアップの気持でこの12月を頑張らしましょう。東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を“いつでも”お受けいたします。身近なりサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。

(さざんか)

営業部 Y の考察

★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの12月予測

- 鉄スクラップ → 考察) 11月初めに東京製鉄宇都宮工場特級が1,000円/トンUPLしてか横ばい状況が続いていますが、12月も輸出価格の低迷が続いているため国内の電炉・高炉メーカーも価格を上げないと思われれます。
- 銅 → 考察) 11月月はLME6,800ドル/トン台でスタートしたが最終的には1次6,300ドル/トン台まで落ち込みました。しかし円安で国内銅建値は、820,000円/トン。12月予想は為替次第。銅スクラップの価格が上っても上物に関してはメーカーの買い控えもあり理論値通りの価格では売却不可能と思われれます。価格に関しては横ばいでしょう。
- アルミ → 考察) LME自体大きな変化はありませんが需要が有るため。12月は小刻みに上ると思われれます。
- プラスチック → 考察) 原油価格の下落が続いているので、ペットボトルをはじめ全般的に12月は下がるでしょう。

11月予測の自己評価

- 鉄スクラップ ○ アルミ ×
- 銅 ○ プラスチック ○

★羅針盤

産廃処理委託契約書の法定記載事項

排出事業者と産廃の収運及び処分業者は、書面による産廃の委託契約を締結しなければなりません。その委託契約書に記載する事項を表にまとめました。書面による委託契約は、産業廃棄物の処理に関する事業者の責任を明確化し、産業廃棄物の適正処理を確保する上で極めて重要です。契約内容に不備があると委託基準違反として罰則や産業廃棄物の撤去等の命令を受ける場合があります。

収集運搬委託契約書、処分委託契約書ともに共通して必要な項目	
1	産業廃棄物の種類・数量
2	委託者が受託者に支払う料金
3	受託者の許可の事業の範囲
4	委託契約の有効期間
適正処理のために必要な情報	
イ	産業廃棄物の荷姿、形状
ロ	通常保管状況下での腐敗、揮発等、性状変化の情報
ハ	混合等により生ずる支障
ニ	産業廃棄物が、日本工業規格C0950号に規定する含有マークが付されたものである場合には、当該含有マークの表示に関する事項
ホ	石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨
6	委託契約の有効期間中に当該産業廃棄物に係る前号の情報(上記5の事)に変更があった場合の当該情報の伝達方法に関する事項
7	受託業務終了時の委託者への報告
8	委託契約解除時の未処理産廃物の取り扱い
収集運搬委託契約書にのみ必要な項目	
1	運搬の最終目的地の所在地
2	積替保管を行う場合は、保管場所の所在地、保管する産業廃棄物の種類・保管上限
3	安定5品目(廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、がれき類)の積替保管を行う場合は、積替保管場所での他の廃棄物と混合することの可否
処分委託契約書にのみ必要な項目	
1	処分の場所の所在地、処分方法、施設の処理能力
2	最終処分場所の所在地、処分方法、施設の処理能力(中間処理を委託する場合)
3	輸入廃棄物の場合は、その旨

➤ 冗談のつもりなのですが、1年生にとっては大変怖い命令が日々幾度となくあり、そのたびに震え上がったものです。昼休みになり部室の掃除に行く時、授業が終わる練習に向かう時、1年生は皆、心が重くなりトイレに行きたくなりました。

そういう経験が、大人になって精神の強さにつながったかって？ 全く関係ないでしょう。(笑) 今となれば唯の笑い話で、同期会では酒の肴になるだけです。

ちなみに、麻袋に詰められた彼は、今立派なプロゴルファーです。私たちの1年先輩が最上級生になるころから、そのような可愛がりは全くなくなりました。ありがたいことでした。

私はラグビーという楯球のスポーツに魅せられて、10年間のラグビー部生活を過ごしましたが、継続した事は有形無形の財産になっております。その10年間、色々な面白い話がありました。また、いずれご紹介出来る日を楽しみにしております。



楯球球人生

連載シリーズ番外編

代表取締役社長 福田 隆

この羅針盤に出てくるのは久々の事ですが、当社の社員が自分の人生を切り売った連載が好評を得ていると伺い、いてもたってもいられず、社長特権で随筆をねじ込ませて頂きました。

私は、先代社長である父の影響で中学入学と同時にラグビー部に入部しました。父は法政大学でラグビーをしており、常々「ラグビーは大変きつかったが、人生勉強になった。」と面白おかしく話してくれていたのです。

意気揚々と「ラグビー部に入りたい」と勧誘に来た先輩部員に伝えると彼はいたく喜んでくれ「君は素晴らしい」などとおだてられたものでした。今思えばその時に気づくべきだったのです。

小学校高学年から中学受験の勉強を経た私は完全な運動不足による肥満体になっており、初めて中学校のラグビー部の練習に出た時は、準備体操前のグラウンド周回ランニングですら「このまま喘息だと嘘をついて、練習から抜けよう」と思ったものでした。それでも正式な入部まで一年生はお客様待遇を受け、練習メニューも先輩社員の3分の1程度で楽しい部活でありました。また、私の中学一年生当時、俳優の石黒賢が大学4年生でテニス部員として隣のテニスコートにいたのを見かけては同級生と共に当時彼が出ていたCMを茶化して「粒塩ー!!」といったざら心で叫んだものです。学校全体としてはこのような自由な雰囲気がありました。

そしてラグビー部では、5月4日GW中にラガー祭なる小学校から大学ラグビー部まで全てが集まる式典があり、これをもって正式入部になります。このラガー祭の日に、先輩である2年生部員が「1年生が終わった」という事で、共々に異常なまでの喜びを表しており、「なんだかおかしいな」と思ったものでした。その直感通り、翌日から毎日、午前午後の計2回の部室掃除から始まり、先輩方のあたたかい「可愛がり」があり、今なら新聞に出るほどの事が繰り返されました。

一年生としての掃除や準備などの仕事はもとより、先輩を見かければ100m先からでも大きな声で挨拶をしたのです。と言えは聞こえはまだいいですが、挨拶をしなければ後で大変なことになるので、ピリピリしながら先輩の姿を感じたものです。今でも思い出されるのは「○○(名前)を麻袋に詰めてグラウンドの真真中に捨ててこい」と命令が大変怖い3年生の一人から一年生に下り、皆で○○というラグビー部の同期を麻袋に入れて、日が暮れたグラウンドを1年生5名ほどで担いで歩き、中央に麻袋と共に置いてきました。麻袋の中でバタバタと動く同級生。(当然後ですぐに助けに行きました。)

一体何のために、そういう指令が下ったのか今でも判りませんが、➤